

報道関係者各位

2017年スポーツライミング ユース日本代表選手について<発表>

公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会（所在地：東京都渋谷区、会長：八木原 園明）は、日本ユース選手権リード競技会 2017（4月15-16日開催）と第3回ボルダリングユース日本選手権鳥取大会 2017（5月20-21日開催）の結果を受け、以下のように「2017年ユース日本代表選手」を決定いたしましたのでご報告いたします。

| 選考種目 ^{*1} | カテゴリー ^{*2} | 選手名 | 読み仮名 | 所属 ^{*3} | 生年月日 | 年齢 | |
|--------------------------|---------------------|-------|----------|------------------|-----------|------------|----|
| ■男子ユース日本代表選手（12名） | | | | | | | |
| 単種目 | リード | ジュニア | 中上 太斗 | なかがみ たいと | 福岡県連盟 | 1999/7/31 | 17 |
| | ボルダリング | | 榑崎 明智 | ならさき めいち | 栃木県連盟 | 1999/5/13 | 18 |
| | ボルダリング | | 原田 海 | はらだ かい | 神奈川県連盟 | 1999/3/10 | 18 |
| | リード | ユースA | 田中 修太 | たなか しゅうた | 新潟県協会 | 2000/5/23 | 17 |
| | ボルダリング | | 土肥 圭太 | どひ けいた | 神奈川県連盟 | 2000/10/17 | 16 |
| | リード・ボルダリング | ユースB | 抜井 亮瑛 | ぬくい りょうえい | 奈良県連盟 | 2003/6/21 | 13 |
| 複合 (リード・ボルダリング) | ユースA | ユースB | 中島 大智 | なかしま だいち | 岩手県協会 | 2000/9/27 | 16 |
| | | | 田嶋 瑞貴 | たじま みずき | 三重県連盟 | 2000/6/8 | 16 |
| | 川又 玲瑛 | | かわまた れい | 栃木県連盟 | 2003/8/6 | 13 | |
| | 竹田 創 | | たけだ はじめ | 宮城県連盟 | 2002/5/17 | 15 | |
| | 西田 秀聖 | | にしだ ひでまさ | 奈良県連盟 | 2002/9/9 | 14 | |
| IF 枠 ^{*4} | ボルダリング | ジュニア | 緒方 良行 | おがた よしゆき | 福岡県連盟 | 1998/2/4 | 19 |
| ■女子ユース日本代表選手（8名） | | | | | | | |
| 単種目 | リード | ジュニア | 田嶋 あいか | たじま あいか | 三重県連盟 | 1998/9/13 | 18 |
| | ボルダリング | | 高田 こころ | たかた こころ | 鳥取県協会 | 1999/5/14 | 18 |
| | リード | ユースA | 小島 果琳 | こじま かりん | 岐阜県連盟 | 2001/10/11 | 15 |
| | ボルダリング | | 中村 真緒 | なかむら まお | 東京都連盟 | 2000/3/2 | 17 |
| | リード | ユースB | 森 秋彩 | もり あい | 茨城県連盟 | 2003/9/17 | 13 |
| | ボルダリング | | 伊藤 ふたば | いとう ふたば | 岩手県協会 | 2002/4/25 | 15 |
| 複合 (リード・ボルダリング) | ユースB | 谷井 菜月 | たにい なつき | 奈良県連盟 | 2003/9/23 | 13 | |
| | | 菊地 咲希 | きくち さき | 東京都連盟 | 2002/9/14 | 14 | |

*1 代表選手を選出する際に参考にした種目

*2 ジュニア：1998年1月1日～1999年12月31日生まれ、ユースA：2000年1月1日～2001年12月31日生まれ
 ユースB：2002年1月1日～2003年12月31日生まれ、ユースC：2004年1月1日～2005年12月31日生まれ
 ユースCに関しては、参加予定大会においてカテゴリーがないため、代表の発表は行わない

*3 選手は、各都道府県の山岳連盟または山岳協会に所属する

*4 2016年IFSC主催の国際大会で優秀な成績を収め、ユース日本代表のトップ選手として活躍が期待できる選手。

緒方良行の場合、2016年アジア選手権優勝（ボルダリング）

[選考について]

代表枠が全体で 20 枠ある中、「日本ユース選手権リード競技会 2017」と「第 3 回ボルダリングユース日本選手権鳥取大会 2017」の優勝者と、世界大会でトップ選手として戦っている要素を持ち合わせている選手を選考。代表選手全員は、アジアユース選手権および世界ユース選手権で 3 種目の競技に出場することが前提。アジアユース選手権に代表選手全員が参加予定。世界ユース選手権の出場枠が限られた場合は、アジアユース選手権の成績により優先順位を決定する。

[目標について]

- 世界ユース選手権：単種目・3 種目^{※5}で表彰台に乗れるチームになる
- アジアユース選手権：単種目・3 種目で優勝者を出せるチームになる
- ユースオリンピック：ユース A カテゴリーにおいて出場枠を獲得する^{※6}

*5 コンバインド／複合競技：ボルダリング、リード、スピードの総合

*6 アジアユース選手権にてオリンピックの決勝フォーマットで優勝することまたは世界ユース選手権で 13 位以内に入賞すること
(国別出場枠は最大男女 2 名ずつ)

[今後の予定 (2017 年 5 月 29 日現在)]

| 開催予定期間 | 大会名称 | | 開催国・都市名 |
|--------------------|-----------|---|-------------------|
| 2017/7/5～9 | アジアユース選手権 | Asian Youth Championships | シンガポール |
| 2017/8/30 ～9/10 | 世界ユース選手権 | IFSC Youth World Championships - Innsbruck(AUT)-2017 | インスブルック (オーストリア) |
| 2018/10/6-18 | ユースオリンピック | 3rd Summer Youth Olympic Games | アルゼンチン (ブエノスアイレス) |

※予告なしにスケジュールや開催地が変更されることがございます。最新の情報は、International Federation of Sport Climbing (IFSC、国際スポーツクライミング連盟) の Web サイトをご覧ください。 <http://www.ifsc-climbing.org/>

[ご参考]

■ユース日本代表選手選考基準

http://www.jma-sangaku.or.jp/climbing/up_img/files/criteria%26STD/170105criteria_youth_nomination.pdf

■2017 年ユース日本代表

<http://www.jma-climbing.org/docs/youth-national-team-2017>

■ユースオリンピック 選考システム (Qualification System – Youth Olympic Games Buenos Aires 2018)

<https://goo.gl/5A5cCH>

[本件に関するお問い合わせ先]

(公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会 事務局 尾形

TEL : 03-3481-2396 電子メール : info@jma-sangaku.or.jp